

講義コード	11C0128719	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員	高橋 美由紀	開講期	通年																														
科目名	ゼミナールⅠ(高橋)																																						
履修前提条件						備考																																	
授業の目的	人口と経済の関係について歴史的視点から学び、現代の人口問題についても考えていきます。歴史的な働き方の変遷を通して、現代望ましいワークライフバランスを考えてみましょう。また、地域の経済の歴史と人々の暮らしの変容についても考察します。																																						
到達目標	自分の考えをまとめて、説得的なプレゼンテーションが出来ること。																																						
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	輪読に当たっては、事前に指定の箇所を読み、分からない用語などを調べておくこと。また、自分の課題については、報告直前以外でも常にニュースその他を見て学修しておくこと（授業前2時間、授業後2時間、計120時間）。その他、博物館訪問や合宿などにも参加すること。																																						
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>【第1回】ゼミで何を学ぶか。人口と経済についての講義。</td> <td>【第16回】グループ研究の報告6。</td> </tr> <tr> <td>【第2回】グループ課題の報告。</td> <td>【第17回】グループ研究の報告7。</td> </tr> <tr> <td>【第3回】課題図書の輪読1。</td> <td>【第18回】課題図書の輪読5。</td> </tr> <tr> <td>【第4回】課題図書の輪読2。</td> <td>【第19回】課題図書の輪読6。</td> </tr> <tr> <td>【第5回】課題図書の輪読3。</td> <td>【第20回】英書輪読1。</td> </tr> <tr> <td>【第6回】課題図書の輪読4。</td> <td>【第21回】コンピュータ実習3。</td> </tr> <tr> <td>【第7回】課外実習（博物館など訪問）。</td> <td>【第22回】コンピュータ実習4。</td> </tr> <tr> <td>【第8回】課外実習について成果レポートの報告と討論。</td> <td>【第23回】プレゼン1</td> </tr> <tr> <td>【第9回】グループ研究の報告1。</td> <td>【第24回】プレゼン2</td> </tr> <tr> <td>【第10回】グループ研究の報告2。</td> <td>【第25回】プレゼン3</td> </tr> <tr> <td>【第11回】コンピュータ実習1。</td> <td>【第26回】課題図書の輪読7。</td> </tr> <tr> <td>【第12回】コンピュータ実習2</td> <td>【第27回】課題図書の輪読8。</td> </tr> <tr> <td>【第13回】グループ研究の報告3。</td> <td>【第28回】ゼミ最終プレゼン3。</td> </tr> <tr> <td>【第14回】グループ研究の報告4。</td> <td>【第29回】ゼミ最終プレゼン4。</td> </tr> <tr> <td>【第15回】グループ研究の報告5。</td> <td>【第30回】ゼミ最終プレゼン5。</td> </tr> </table>									【第1回】ゼミで何を学ぶか。人口と経済についての講義。	【第16回】グループ研究の報告6。	【第2回】グループ課題の報告。	【第17回】グループ研究の報告7。	【第3回】課題図書の輪読1。	【第18回】課題図書の輪読5。	【第4回】課題図書の輪読2。	【第19回】課題図書の輪読6。	【第5回】課題図書の輪読3。	【第20回】英書輪読1。	【第6回】課題図書の輪読4。	【第21回】コンピュータ実習3。	【第7回】課外実習（博物館など訪問）。	【第22回】コンピュータ実習4。	【第8回】課外実習について成果レポートの報告と討論。	【第23回】プレゼン1	【第9回】グループ研究の報告1。	【第24回】プレゼン2	【第10回】グループ研究の報告2。	【第25回】プレゼン3	【第11回】コンピュータ実習1。	【第26回】課題図書の輪読7。	【第12回】コンピュータ実習2	【第27回】課題図書の輪読8。	【第13回】グループ研究の報告3。	【第28回】ゼミ最終プレゼン3。	【第14回】グループ研究の報告4。	【第29回】ゼミ最終プレゼン4。	【第15回】グループ研究の報告5。	【第30回】ゼミ最終プレゼン5。
【第1回】ゼミで何を学ぶか。人口と経済についての講義。	【第16回】グループ研究の報告6。																																						
【第2回】グループ課題の報告。	【第17回】グループ研究の報告7。																																						
【第3回】課題図書の輪読1。	【第18回】課題図書の輪読5。																																						
【第4回】課題図書の輪読2。	【第19回】課題図書の輪読6。																																						
【第5回】課題図書の輪読3。	【第20回】英書輪読1。																																						
【第6回】課題図書の輪読4。	【第21回】コンピュータ実習3。																																						
【第7回】課外実習（博物館など訪問）。	【第22回】コンピュータ実習4。																																						
【第8回】課外実習について成果レポートの報告と討論。	【第23回】プレゼン1																																						
【第9回】グループ研究の報告1。	【第24回】プレゼン2																																						
【第10回】グループ研究の報告2。	【第25回】プレゼン3																																						
【第11回】コンピュータ実習1。	【第26回】課題図書の輪読7。																																						
【第12回】コンピュータ実習2	【第27回】課題図書の輪読8。																																						
【第13回】グループ研究の報告3。	【第28回】ゼミ最終プレゼン3。																																						
【第14回】グループ研究の報告4。	【第29回】ゼミ最終プレゼン4。																																						
【第15回】グループ研究の報告5。	【第30回】ゼミ最終プレゼン5。																																						
成績評価の方法	レポート・プレゼンテーション、ゼミ参加態度。																																						
フィードバックの内容																																							
教科書	『歴史人口学の世界』速水 融（岩波書店）2012、『愛と希望の「人口学講義」』鬼頭 宏（ウエッジ）2015、『人口学への招待』河野 稔果（中央公論社）2007、『老いてゆくアジア』大泉 啓一郎（中央公論社）2007、『国勢調査を調査する』山本勝美（岩波書店）1995、『人口減少×デザイン』筧 祐介（英治出帆）2015																																						
指定図書	『人類史のなかの人口と家族』木下 太志、浜野 潔（晃洋書房）2003、『歴史人口学からみた結婚・離婚・再婚』黒須 里美他（麗澤大学出版会）2012、『歴史人口学のフロンティア』速水 融、友部 謙一、鬼頭 宏（東洋経済新報社）2001																																						
参考書	『人口で見る日本史』鬼頭 宏（PHP 研究所）2007																																						
教員からのお知らせ	講義順序は、教室状況によって変更する場合があります。参考書は必要に応じて追加し、その都度提示します。																																						
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応するとともに、メールにて受け付けます。また、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受け付けます。																																						
その他	ゼミ参加者の希望によって輪読書は若干変更する場合があります。																																						